日本ソーシャル・イノベーション学会
-第８回年次大会(2026)-

サステナビリティと
ソーシャル・イノベーション

-人と地球の未来を共に創る-



2026.11.14.Sat-11.15.Sun

＜主催＞日本ソーシャル・イノベーション学会
＜共催＞立命館大学日本バイオ炭研究センター
会場：立命館大学　大阪いばらきキャンパス

第８回年次大会　プログラム

「サステナビリティとソーシャル・イノベーション-人と地球の未来を共に創る-」

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

2026.11.14.Sat

<table>
<tr><td>10:30-</td><td colspan="2">受付開始（H棟2階H202教室前）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">11:00-
12:30</td><td colspan="2">分科会企画（H棟1階2階）</td></tr>
<tr><td>分科会1(H241)</td><td>分科会2（1階テラスゲート）</td></tr>
<tr><td>「ソーシャル・イノベーション実践演習」研究発表（大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム）

代表者：畑中寛（琉球大学）

共同発表者：
Aチーム：石原和弥（龍谷大学大学院）・田邉陽子（同上）・松田結美（同上）・世古悠太（京都文教大学大学院）・金城杏菜（琉球大学大学院）
Bチーム：泉武登（龍谷大学大学院）・田广良哉（同上）・山口有香（同上）・有瀧美栄（京都文教大学大学院）・田籠結芽（同上）
Cチーム：岡部佳美（龍谷大学大学院）・桝谷充康（同上）・山崎有希子（同上）・飯野令士（京都文教大学大学院）</td><td>イノベーションとはーアートの実践を通して創造のプロセスと評価を問い直す

代表者：スプリー・ティトゥス
（琉球大学教育学部・地域共創研究科）

共同発表者：大山龍（アーティスト）・松谷容作（追手門学院大学 社会学部 教授）</td></tr>
<tr><td>分科会3（H243）</td><td>分科会4（H244）</td></tr>
<tr><td>個人-社会-システムの変容に向かう観想教育の場の生成〜SEE Learning Japanの活動を事例とした、教育におけるソーシャル・イノベーション

代表者：依田真由美（SEE Learning Japan／観想教育ラボ）

共同発表者：内田範子（慶應義塾大学 観想研究センター研究員、SEE Learning Japan、一般社団法人観想教育ラボ）・佐々木一誠（一般社団法人観想教育ラボ）・津森絵理子（同上）</td><td>小中高生が「研究者」になる社会ー小中高生のための大学院Coda schoolが目指すソーシャル・イノベーション

代表者：西口優毅
（小中高生のための大学院Coda school/同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程3年/大阪産業大学経営学部非常勤講師/日本ソーシャル・イノベーション学会理事）

共同発表者：
Coda school 本科生
・岡田啓吾（大阪市立晴明丘南小学校5年）・岩下昊樹（啓明学園中学校2年）・広田野乃花（京都教育大附属京都小中学校8年(中2)）・館森菜七（和光高等学校2年）

Coda school 講師・スタッフ
・根津創（京都工芸繊維大学工芸学部機械工学課程4年）・日野皐汰朗（同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程2年）・木佐貫拓眞（PaKTcompany合同会社）・山本響（立命館大学大学院食マネジメント研究科博士前期課程1年）</td></tr>
<tr><td>13:00-
13:20</td><td colspan="2">開会式・チェックイン（H棟2階H202）</td></tr>
</table>

第８回年次大会　プログラム

「サステナビリティとソーシャル・イノベーション-人と地球の未来を共に創る-」

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

2026.11.14.Sat

<table>
<tr><td rowspan="10">13:20-
15:20</td><td>基調講演・パネルディスカッション（H棟2階H202）</td></tr>
<tr><td>モデレーター：依田祐一（立命館大学経営学部長・大学院研究科長 教授）
13:20-13:35　解題：大会テーマ</td></tr>
<tr><td>13:35-14:00　講演①：バイオ炭によるカーボンマイナスの技術と社会実装</td></tr>
<tr><td>柴田晃（立命館大学日本バイオ炭研究センター　名誉センター長）</td></tr>
<tr><td>14:00-14:25　講演②：サステナビリティ経営の実践-ビジネスは世界を変えるプラットフォーム-</td></tr>
<tr><td>遠藤理恵（株式会社セールスフォース・ジャパン　執行役員）</td></tr>
<tr><td>14:25-14:50　講演③：ソーシャルインパクト投資による社会起業家支援</td></tr>
<tr><td>酒井克也（学校法人立命館　常務理事 , 立命館ソーシャルインパクトファンド：RSIF　担当）</td></tr>
<tr><td>14:50-15:15　パネルディスカッション：多様な主体によるエコシステムをいかに構築するか</td></tr>
<tr><td>15:15-15:20　まとめ・クロージング</td></tr>
<tr><td rowspan="7">15:30-
17:00</td><td>サブセッション“One Planet”/SI将来構想WS（H棟2階H202）</td></tr>
<tr><td>15:30-15:35　趣旨説明</td></tr>
<tr><td>15:35-15:50　今後のSI学会に必要なスコープとは?</td></tr>
<tr><td>15:50-16:10　SI学会の未来をどのようにとらえるか？</td></tr>
<tr><td>16:10-16:40　グループワーク</td></tr>
<tr><td>16:40-17:00　振り返り</td></tr>
<tr><td>日本ソーシャルイノベーション学会将来構想委員会
委員（五十音順）石田秀輝（委員長） 島岡未来子 新川達郎 服部篤子 琵琶博之 松榮秀士</td></tr>
<tr><td rowspan="5">17:10-
18:10</td><td colspan="2">分科会企画（H棟2階）</td></tr>
<tr><td>分科会5（H241）</td><td>分科会6（H242）</td></tr>
<tr><td>研究者と非研究者による超学際研究はどのようにすればうまくいくのか？ー共感形成に着目してー

代表者：村井拓人（香川大学）</td><td>消費者と事業者の双方向コミュニケーションとはーデジタル社会における高齢期の被害事例からー

代表者：雪美保子（消費者市民教育研究会）

共同発表者：片山登志子氏（弁護士）</td></tr>
<tr><td>分科会7（H243）</td><td>分科会8（H244）</td></tr>
<tr><td>内発的イノベーションのプラットフォーム構築に向けて

代表者：中島恵理（同志社大学総合政策科学研究科）

共著者：松原明美氏（一般社団法人こころ館）・青山恵美氏（同上）

共同発表者：松原明美氏（一般社団法人こころ館）・井上良子氏（京都市ソーシャルイノベーション研究所）・鈴木直子氏（同志社大学大学院総合政策科学研究科修士課程）</td><td>ソーシャル・イノベーター人材開発プログラムの実装：ソーシャル・イノベーション・アカデミー再起動

代表者：内藤達也（NPO法人and Advance）

共同発表者：馬渡一浩（代表兼主任講師）・服部篤子（主任講師）・林博行（講師）・山口康弘（講師）・千葉昌恵（講師）</td></tr>
<tr><td>18:20-
20:00</td><td colspan="2">情報交換会（GARDEN TERRACE LION 立命館いばらきフューチャープラザ店）</td></tr>
</table>

第８回年次大会　プログラム

「サステナビリティとソーシャル・イノベーション-人と地球の未来を共に創る-」

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

2026.11.15.Sun

8:45-	**受付開始（H棟2階テラス）**	
9:30-11:20	**研究発表（H棟2階3階）**	
	SIと経営学視点(H241) 座長：依田真美（相模原女子大学） 討論者：金田晃一（株式会社NTTデータグループ）	**SIの普及(H242)** 座長：八木橋慶一（高崎経済大学） 討論者：畑中寛（琉球大学）
	公益財団法人を核とした市民協働の成熟プロセス ーCollective Impact理論と経営学的視点による分析ー	災害を生き抜く「余白」のデザインと多様な依存先の形成ー奥能登の循環モデルから導く、持続可能な都市型ごちゃまぜ拠点への実装ー
	報告者：黒田哲夫（近畿大学大学院　実学社会起業イノベーション学位プログラム）	報告者：荒川紗季（同志社大学社会学部社会福祉学科）
	経済的価値と社会的価値はいかに統合されうるか ：企業統治の構造に着目したスチュワード・オーナーシップ	フォルケホイスコーレを参考にした学校づくりのその後と普及可能性ー茨城県における実践事例のインタビュー調査から
	報告者：中嶋愛（同志社大学）	報告者：松榮秀士（PaKT company 合同会社）
	個人塾におけるタブレット端末の導入による経営や業務への影響に関する研究	文化を基盤とするソーシャル・イノベーションの持続的展開ーいけばな療法の海外普及における協働と担い手形成ー
	報告者：綾織秀人（立命館大学）	報告者：浜崎英子（NPO法人フラワー・サイコロジー協会）
	コモンズとSI（H243） 座長：島岡未来子（早稲田大学） 討論者：青山公三（京都府立大学）	**地域モデルとSI（H244）** 座長：大和田順子（教育テック大学院大学） 討論者：川中大輔（関西学院大学）
	デジタル・プラットフォームにおける「サードプレイス」の変容と拡張ー『ちいかわ』の情緒的連帯と『Comado』のウェルビーイング支援を事例としてー	福祉×アップサイクルが拓く地域協働型日中活動の可能性ー持続可能な地域共生社会を実装するソーシャル・イノベーションー
	報告者：小辻寿規（立命館大学）	報告者：岡崎貴志（京都府立大学大学院博士課程後期/社会福祉法人南山城学園）
	寺院はなぜ人を集める「場」となりうるのか ー結束型から橋渡し型への組織的転換ー	高校魅力化から地域ウェルビーイングへの回路ー岡山県高梁市及び県立高梁城南高校における共変容型地域づくりの過程ー
	報告者：日野皐汰朗（同志社大学大学院総合政策科学研究科　博士課程（後期課程））	報告者：佐野淳也（吉備国際大学） 共著者：横山弘毅（高梁市学校連携コーディネーター）・光石正和（高梁城南高等学校）・北條大直（同上）・小原大輝（同上）
	尊厳を守るということーー当事者の場から社会的包摂を問いなおす	「ごみと言わない」参加型アートがつくる地域福祉の可能性についてー上勝町ゼロ・ウェイストセンターにおける住民参加型の資源分別実践から考える社会的孤立予防・健康寿命に及ぼす影響の考察
	報告者：北川美里（一般社団法人京都わかくさねっと）	報告者：木佐貫拓眞（PaKT company llc/上勝町ゼロ・ウェイストセンター）
	個の変容を考える（H341） 座長：今里滋（同志社大学） 討論者：西村仁志（環境共育事務所カラーズ）	**SIの再構築（H342）** 座長：関根千佳（株式会社ユーディット） 討論者：新川達郎（同志社大学）
	四国遍路における内的心理スペースの形成と心理的変容ー20年後の再解釈を通したソーシャルイノベーションへの示唆ー	ソーシャル・イノベーション概念の再検討
	報告者：橋本俊之（京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科）	報告者：高畑明尚（琉球大学）

第８回年次大会　プログラム

「サステナビリティとソーシャル・イノベーション-人と地球の未来を共に創る-」

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

2026.11.15.Sun

9:30-11:20	**個の変容を考える（H341）** 座長：今里滋（同志社大学） 討論者：西村仁志（環境共育事務所カラーズ）	**SIの再構築（H342）** 座長：関根千佳（株式会社ユーディット） 討論者：新川達郎（同志社大学）
	研究基盤の乏しい実践領域に「知の生態系」をつくるフラワーエッセンス領域における研究教育の試行と過渡期の経過報告	創造性を育てる大学教育ー没入型・超学際的な教育実践の6年間の経験から
	報告者：若狭由美（一般社団法人FLORA SOFIA PHILIA）	報告者：スプリーティトゥス（琉球大学教育学部）
	受給者証返納に至った児童の療育過程と支援の特徴ー3事例の質的分析ー	ー
	報告者：北田健二（李月（株式会社三葉））	ー
	レジリエンスとSI（H343） 座長：服部篤子（大和大学） 討論者：山口洋典（立命館大学）	ー
	被災地における造船クラスターの経営統合と地域イノベーションー宮城県気仙沼市「みらい造船」の事例にみる進化論的レジリエンスー	ー
	報告者：吉川玄徳（東京都市大学デザイン・データ科学部）	ー
	世界との関わり方を組み替える教育 サステナビリティを可能にする認識論的転換の実践	ー
	報告者：飯塚宜子（京都大学東南アジア地域研究研究所）	ー
	人口減少下におけるWeb3を活用した地域コミュニティ形成の可能性ー新潟県長岡市山古志地域のNishikigoi NFTを事例としてー	ー
	報告者：奥村凪紗（新潟大学現代社会研究科　博士課程（前期課程））	ー
11:35-12:15	**ポスター・分科会スピーチ（H棟2階H221）**	
	※ポスター発表者＋分科会の希望者	
12:20-13:20	**ランチタイム/IGAIネットワーク（H棟2階H202）**	
13:30-14:30	**ポスター発表（H棟2階H221教室外Connected Learning Commons）**	
	1：文系・理系の研究者間における共感形成の障壁は何か	2：市区町村から始める、自律した生活の取り戻し方
	発表者：村井拓人（香川大学）	発表者：藤田怜修（武蔵野美術大学大学院 造形構想研究科）・丸山幸伸（武蔵野美術大学 造形構想学部）
	3：赤い羽根福祉基金による助成がもたらした成果と社会的インパクトー10年間の助成先団体の活動分析を通じてー	4：「大学間連携によるソーシャル・イノベーション人材育成における資格制度の役割」ー初年度の資格付与と2年目の運用を通してー
	発表者：金井英里奈（社会福祉法人 中央共同募金会）	発表者：青山公三（一般財団法人地域公共人材開発機構）・新川達郎（同上）・宮本文（同上）

第８回年次大会　プログラム

「サステナビリティとソーシャル・イノベーション-人と地球の未来を共に創る-」

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

2026.11.15.Sun

13:30-14:30	**ポスター発表（H棟2階H221教室外Connected Learning Commons）**	
	5：均等法世代の経験の可視化・共有を通じた人生100年時代のライフデザイン支援ーパターン・ランゲージ「私たちのこれからをつくることば」の開発を通じて	6：物流業界における従業員ウェルビーイング指標の探索的研究～SWB(主観的ウェルビーイング)×OWB(客観的ウェルビーイング)による企業比較と改善の方向性～
	発表者：長田尚子[1]・宮川聖子[1]・日高由美子[2]・関根千佳[1,3] （昭和女子大学現代ビジネス研究所）[1] （株式会社TAM）[2] （株式会社ユーディット）[3]	発表者：外山奏冴（東京都市大学 デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科）・榎屋美帆（同上）・宮田佳歩（同上）・野島海正（同上）
	7：協働に先立つ「誘引」はいかに生み出されるか：群馬県前橋市の事例を通じた「誘引的媒介基盤」の精緻化	8：上海のコミュニティガーデンにおけるウェルビーイングの形成とそのメカニズム
	発表者：川戸康平（立命館大学大学院 経営学研究科 博士課程後期課程）	発表者：王暁娟（武蔵野大学大学院環境学研究科）・明石修（武蔵野大学工学部サステナビリティ学科）
	9：コミュニティガーデンによる人・地域・自然の共進化の可能性～再生的サステナビリティの視点から～	12：固定型レトロコンテンツの動的持続可能性と福祉的サードプレイスの創出ー初代『プロ野球ファミリースタジアム』のプレイヤーを対象としたM-GTA分析を通じてー
	発表者：明石修（武蔵野大学）・田中笑子（同上）・松本凱斗（慶應義塾大学）・新保奈穂美（東京大学）・たいら由以子（ローカルフードサイクリング（株））	発表者：琵琶博之（NPO法人夢検定協会）・岩村俊平（株式会社大栄コンサルタント）
14:40-16:10	**分科会**	
	分科会9（H241）	**分科会10（H242）**
	ソーシャル・イノベーション教育の「テキスト」を考える	つながり育み型ソーシャル・イノベーションの実践 ～社会的孤立の防止と持続可能な地域共生の未来
	代表者：川中大輔（関西学院大学） 共同発表者： 西村仁志（環境共育事務所カラーズ）・鈴木暁子（関西学院大学）・新川達郎（同志社大学）	代表者：露木真也子（県立広島大学大学院経営管理研究科） 共同発表者：松原勇作（八頭町社会福祉協議会 ひきこもり支援ステーション「めにゆだ」係長、社会福祉士・公認心理師・精神保健福祉士・MBA／SMOフロンティア研究所 客員研究員）・中村光（広島三育学院中学校副教頭／県立広島大学大学院経営管理研究科（HBMS）修了）・松原かほり（医療法人社団明和会 大野浦病院 会長室室長、言語聴覚士・MBA／SMOフロンティア研究所 客員研究員）・山本恵子（国立病院機構福山医療センター 作業療法士・MBA／SMOフロンティア研究所 客員研究員）
	分科会11（H243）	**分科会12（H244）**
	「地域活性化」の外側に立つとき ー研究知と実務知のあいだを埋めるための対話	観光資源から防災資源へ ー民泊を活用した災害時住まい支援は社会に定着できるかー
	代表者：早川公（東京大学先端科学技術研究センター） 共同発表者： 根木優気（東京大学大学院博士後期課程／東京外国語大学 特任研究員｜文化人類学）・高橋健太郎（一橋大学大学院博士後期課程／労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー｜社会学）・米谷龍幸（ナカニシヤ出版｜編集者）	代表者：小林和子（一般社団法人民泊観光協会） 共同発表者： 梶原桂子氏（熊本市健康福祉局 障がい者支援部 障がい福祉課 課長）・井村浩之氏（KVOAD防災アドバイザー）・大屋智浩氏（Airbnb Japan株式会社 執行役員 公共政策本部 本部長）・河西紀明氏（やどかりプロジェクト開発者／BASEYARZ株式会社 代表）・吉川香寿美氏（熊本民泊・民宿推進協議会 代表）・服部篤子氏（大和大学 教授｜公共政策学・公共経営論・市民社会論）
16:20-16:50	**閉会式・表彰式（H棟2階H202）**	